

地域の課題に向き合い「ひと」「まち」「仕事」をつなぐ



ひとのコト・まちのコト・仕事のコト

コトノデザイン
& 古民家空間 kotonoha

「いのち」について向き合うことができる内容や、ひとのコト、まちのコト、仕事のコトを通して、そこに生きる人が共に幸せに生活することができるコミュニティ創りを行う事業に取り組んでいます。



トタン引き茅葺き屋根古民家をオープンなスペースとして活用していただいています。



企画・編集デザインとイラスト制作

企画の段階から打ち合わせに参加させていただき、オリジナルのイラストを含めたデザイン・企画提案をさせていただきます。

《実績》

- ・奈良県「いのちの教育」プログラムとツール作成
- ・B型肝炎に関する教育・啓発ツールなど、社会課題や地域課題に係る企画立案 多数



講師・講演

自身の経験とおして、「多様な生き方」や「いのちの大切さ」「生きること」「困難に立ち向かう」ことなどについての講師・講演を行っています。

《実績》

- ・移住定住・子育てに関するイベント企画運営多数
- ・視察の受け入れや講演会・大学での講義など



創業や地域のイベント等の企画立案やプロデュース

地域の取り組みやワークショップ開催などの実施、イベントのプロデュースを行っています。

《実績》

- ・「多可・冬のホタル」企画立案と事業運営
- ・古民家等の歴史的建造物を使ったイベント等の企画立案と運営多数
- ・自治体や団体での張り子作り教室等実施

小椋 聡 Satoshi Ogura

企画・編集デザイナー・イラストレーター／講師・講演／出版社運営／作曲家／古民家空間 kotonoha (民泊・レンタルスペース) の運営

【コトノデザイン】

ひょうご産業 SDGs 推進宣言企業



【SNS】

instagram

facebook

note

YouTube



【経歴】

音楽大学の作曲学部作曲専攻を卒業し、舞台音楽などを手掛ける。その後、被災した動物や虐待・遺棄された動物を保護している民間のアニマルシェルターで勤務。

31 歳からは、国内外の展覧会の企画運営をしている会社に就職して編集長として勤務。

35 歳のときに JR 福知山線脱線事故に 2 両目で巻き込まれ、38 歳のときにフリーランスとして独立。

43 歳のときに兵庫県・多可町に移住。かなり傷んだ古民家を DIY で改修し、デザイン事務所兼民泊・レンタルスペースとしてシェアキッチンとして活用中。

【現在】

- ・2008 年～ 「コトノデザイン」代表
- ・2014 年～ 「公益社団法人 Knots」理事 兼 企画教育部長
- ・2016 年～ 「古民家空間 kotonoha」オーナー
- ・2017 年～ 「一般社団法人 紡」理事
- ・2018 年～ 「多可・冬のホタル実行委員会」副委員長
- ・2018～ 「コトノ出版舎」創設



「古民家空間 kotonoha」は、レンタルスペースとしてコンサートや講演会、カフェ営業と共に教室などの開催場所として使用可能です。また、民泊として宿泊を伴うイベントや観光の拠点としてもご利用いただけます。

